

〈ムーブフェスタ 2026 市民企画事業〉
福岡インディペンデント映画祭
北九州支部

北九州 上映会

2026 7.24 Fri

上映時間 ① 14:00~ ② 16:15~ ③ 18:10~

会場 北九州市立男女共同参画センター
ムーブ5階 大セミナールーム
(小倉北区大手町11-4)

入場料金 1プログラム **500**円

- ◎高校生以下無料
- ◎障がい者と同伴者1名は半額

第1プログラム / 14:00~15:50

- タイムマシンガール

第2プログラム / 16:15~17:45

- アナログ坊やおたずね老婆
- 英雄歯
- Eyeself~ワタシノセカイ~
- 竹とタケノコ
- ばあちゃんの引越し

第3プログラム / 18:10~19:30

- 霞始めてたなびく
- 毒と音楽
- 国道7号線

fidff
夏の上映会

お問い合わせ

福岡インディペンデント映画祭実行委員会北九州支部

☎ 080-5605-6083 (担当: マナベ)

✉ fidff_since2009@fidff.com



〈ムーブフェスタ 2026 市民企画事業〉
福岡インディペンデント映画祭北九州支部

北九州上映会

2026 7.24 Fri

第1プログラム / 14:00~15:50

FIDFF 2025 長編優秀賞



タイムマシンガール

2025年制作 / 上映時間：105分

木場 明義 監督 (Akiyoshi Koba)

SFやファンタジーの要素を日常の中にやさしく溶け込ませたコメディ作品に定評のある木場監督の最新作。主人公・星野可子を演じるのは、2020年に「ミスマガジベスト16」に選ばれ、映画『レッドブリッジ』やドラマ『パリピ孔明』『さっちゃん、僕は。』などで注目を集める若手女優 葵うたの。可子と行動をともにする山本千鶴役には、パレリーナ、モデル、アイドルグループ「君と見るぞら」のメンバーとしても活躍する 高橋 桃羽 が出演します。びっくりすると42分前に戻ってしまう不思議な力をめぐって巻き起こる大騒動を、笑いとハラハラの中で描きながら、友情や思いやり、勇気の大切さをまっすぐに届ける一本。子どもにはわくわくする冒険として、見終わったあとには笑顔しか残らない、親子で楽しみたい作品です。

第2プログラム / 16:15~17:45

FIDFF 2025 短編優秀賞



アナログ坊やとおたずね老婆

2025年制作 / 上映時間：21分

乾 拓歩 監督 (Takuho Inui)

若手監督応援プロジェクト「フェローズフィルムフェスティバル学生部門 (FFF-S)」の第3回作品。スマホを持っていないことで小学生サオオが友達の入力に悩む日々。そんなサオオがスマホを買うためにでた行動とは？コミュニケーションの本質を問う。

第3プログラム / 18:10~19:30



霞始めてたびく

2025年制作 / 上映時間：5分

山中 千尋 監督 (Chihiro Yamanaka)

フランスで開催された世界最高峰のアニメーション映画祭「アヌシー国際アニメーション映画祭」をはじめ世界 12 国 20 の映画祭で上映。本作では、色鮮やかな絵画を 3DCG の技術によって、里山の四季を動く絵画として表現。監督の大学卒業制作作品。

英雄歯

2024年制作 / 上映時間：4分

飯塚 貴士 監督 (Takashi Iitsuka)

人形やミニチュアを使った独自の映像表現が魅力の飯塚監督。監督、脚本、撮影、美術、音楽、登場人物の声をほぼ一人でやる。逃げ出した乳歯と、差し歯を作れないボクサー。そんなありえない出会いから世界を救う物語が始まる！



毒と音楽

2024年制作 / 上映時間：43分

節田 朋一郎 監督 (Tomoichirou Setsuda)

代表作「深骨」「愛骨」「毒と音楽」の3本が9月に池袋シネマロサで1週間の特集上映が決定した節田監督による愉快で愛すべき青春群像劇。



Eyeself~ワタシノセカイ~

2023年制作 / 上映時間：14分

監督：

山崎匠 (Takumi Yamazaki) 宮原恵人 (Keito Miyahara)
藤川玲央 (Reo Fujikawa) / 八染まどか (Madoka Yasome)

「視覚障害の世界を伝えたい」という強い思いから大學生 4 人を中心に制作。視野狭窄という障害を抱える八染まどかさん。持ち前の想像力を活かして、自身の「困難」を楽しみ姿を描く。



竹とタケノコ

2024年制作 / 上映時間：37分

川上 信也 監督 (Shinya Kawakami)

サンダンス・インスティテュート / NHK 賞日本代表に選出。数々受賞経験を持つ川上監督。手筒花火に夢中で息子に無関心の父・寛 (駿河太郎) と発達障害を抱える息子・悠人 (清水尚弥) と。手筒花火を通して父と子の想いが交差する。見守る母にも注目。

FIDFF 2025 グランプリ



国道7号線

2024年制作 / 上映時間：30分

全 辰隆 監督 (Jinrung Chun)

日韓朝をつなぐ家族の記憶と絆を繊細に描く短編作品。秋田県の国道7号線沿いで50年続けた店を営み、母とともに新潟を訪れるヨンホ。そこは、母の姉が北朝鮮へ渡った土地だった。ヨンホは、家族の歴史に思いをはせる。母の死後、北からの手紙を見つけたヨンホは、疎遠だった娘ナナの突然の訪問を

きっかけに、娘とともに韓国の国道7号線を北上する旅に出る。国境を越え、世代を越えた、家族の記憶と再生の物語。

ばあちゃんの引越し

2025年制作 / 上映時間：11分

北村 伊知郎 監督 (Ichirou Kitamura)

ドイツで開催される世界最大級の日本映画祭「ニッポン・コネクション / Nippon Shorts: Imper-manence」に招待された本作。96歳で長年暮らした長崎・佐世保を離れ、福岡で娘と同居することになった祖母の姿を追うドキュメンタリー映画。



『3ミリの恋』 11月6日 (金) 全国公開！

在日韓国人3世・気鋭の新人監督
全辰隆 (チョン・ジニョン) デビュー作

『怪物』『国宝』で鮮烈な存在感を放った黒川 想矢 と、韓国映画『破雲/パミョ』で注目を集めたキム・ジャンが W 主演を務める青春映画『3ミリの恋』。本作で商業デビューを

果たすのは、在日韓国人3世の全辰隆 (チョン・ジニョン) 監督。第16回福岡インディペンデント映画祭2024では「ミヌとりえ」が短編優秀賞に、第17回福岡インディペンデント映画祭2025では「国道7号線」がグランプリを受賞。国内外で高い評価を重ね、いよいよ注目を集める若手監督のひとりです。

福岡インディペンデント映画祭実行委員会北九州支部

☎ 080-5605-6083 (担当：マナベ)

✉ fidff_since2009@fidff.com